

当協会は、農林水産に関する統計書等の出版並びにデータ処理、システム開発分野を中心とし、高水準な技術力、高度な倫理性で迅速・柔軟に各種サービスを提供してまいりました。情報化社会も、安心・安全な情報インフラストラクチャーあってこそ、その健全・快適・新鮮な未来が期待できるものと考えます。

当会は、お客様への安心出来るビジネスインフラとして、ご信頼に背かぬサービスを提供するため、情報システムマネジメントシステム（ISMS）を導入し、CIA（機密性・完全性・可用性）確保の観点から、下記ISMS基本方針に基づき構築・運用いたします。

ISMS基本方針

- 1：セキュリティインシデント^{ゼロ}0を目標に、環境変化を踏まえたISMSの運用を行います。
- 2：情報セキュリティに関わる内外の要求事項（お客様、法規制、社会、事業）を守ります。
- 3：組織のリスクマネジメントとの整合性を取ってISMSの構築・運用を行います。
- 4：リスクアセスメントにもとづく対策の実施・運用・改善を継続的に行います。
- 5：キーは人間にあることを理解し、個人の役割の重要性を含め継続的教育を行います。

財団法人 農林統計協会

専務理事 池坂正信 2008.1.25